

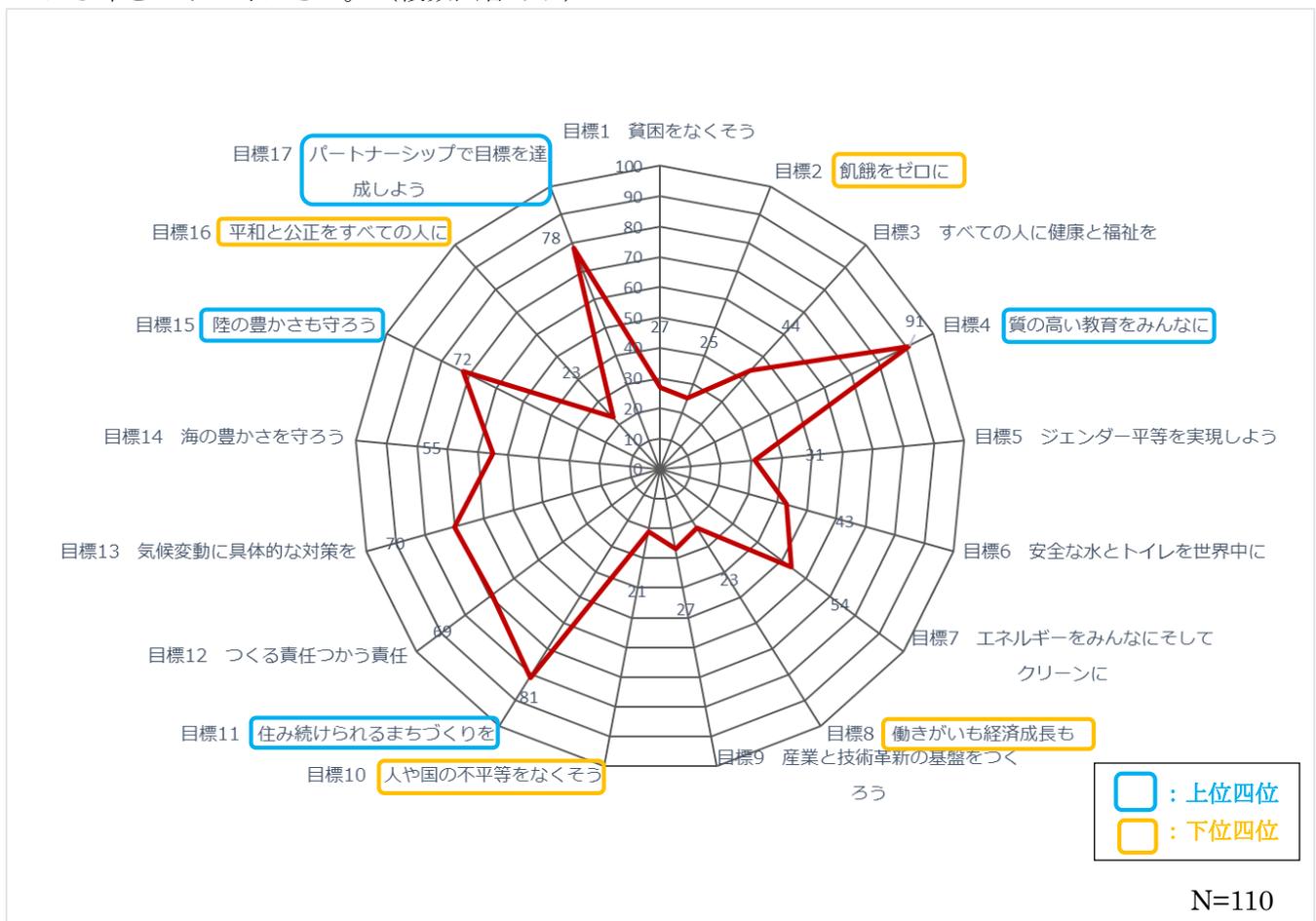
2021年度地域ESD拠点年次アンケート結果

本調査は、ESD活動推進ネットワークの可視化に関する検討の一環として、2021年度3月末までに登録した地域ESD活動推進拠点（以下「地域ESD拠点」という。）に対して、2022年3月から4月にかけて実施したアンケート結果をとりまとめたものである。アンケートはESD活動推進ネットワークの現状を把握し、今後のESD推進ネットワークの事業計画に反映することにより、ネットワークの価値を高めることを目的としている。

全国159の地域ESD拠点を対象として実施した。アンケートはウェブのフォームを用い、E-mailで回答を依頼し、110件（回答率：69.2%）の回答を得た。

アンケートの質問票は、2020年度にESD推進ネットワークの可視化に関する意見交換会、地方ESD活動支援センターの意見を踏まえ、設問の数と内容をより回答しやすく見直したものを引き続き用いた。

1. 当該期間中（2021年4月～2022年3月）に取り組んだ活動に関連する「持続可能な開発目標（SDGs）」に○印をつけてください。（複数回答あり）

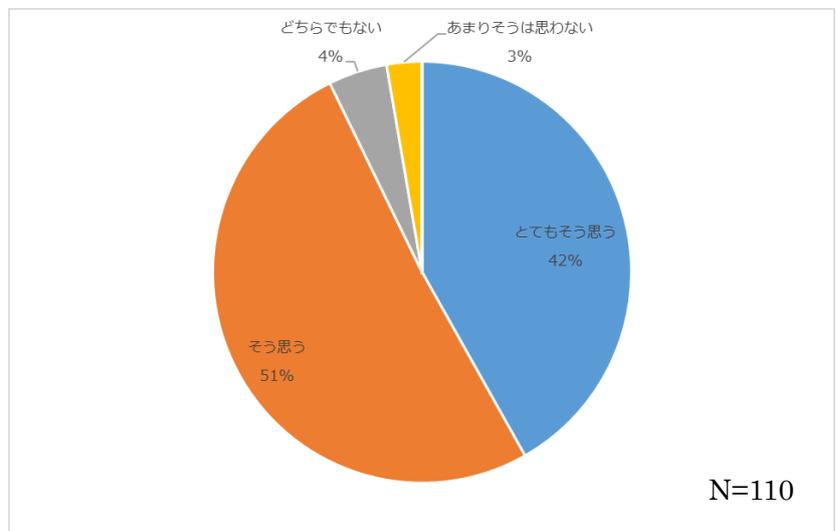


多くの地域 ESD 拠点が教育(目標 4)、に関連する活動に取り組んでいる。他にはまちづくり(目標 11) やパートナーシップ(目標 17)、陸の豊かさ (目標 15) の割合が高く、他の主体と連携しながら地域の課題解決に取り組んでいる様子が見えてくる。一方、不平等 (目標 10)、働きがい (目標 8)、平和と公正 (目標 16)、飢餓 (目標 2) の割合は低い。

2. ESD/SDGs の普及・理解促進の度合い

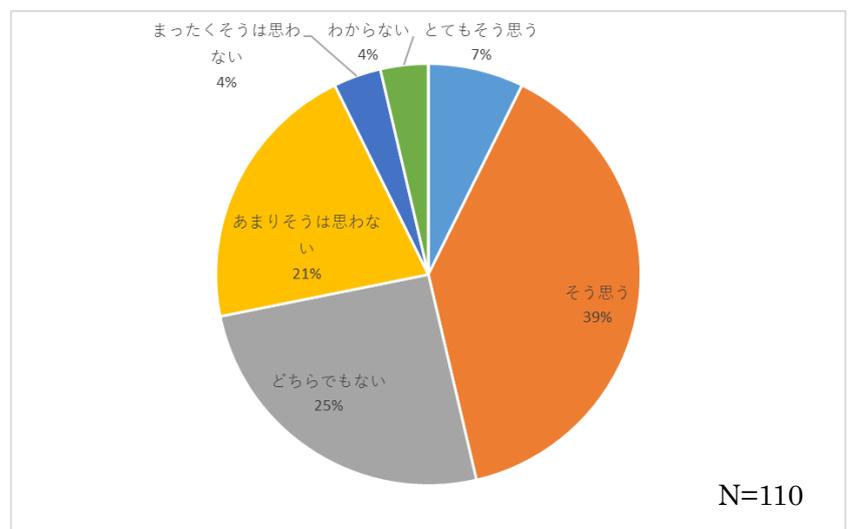
2-1 あなたが所属している地域 ESD 拠点では、ESD を SDGs 達成の担い手育成を目指した活動と位置づけて取り組んでいますか？

「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせて 93%と、9 割以上の拠点が肯定的な回答をしており、ESD が SDGs 達成に向けた人づくりであるという考え方が多くの拠点に浸透している。



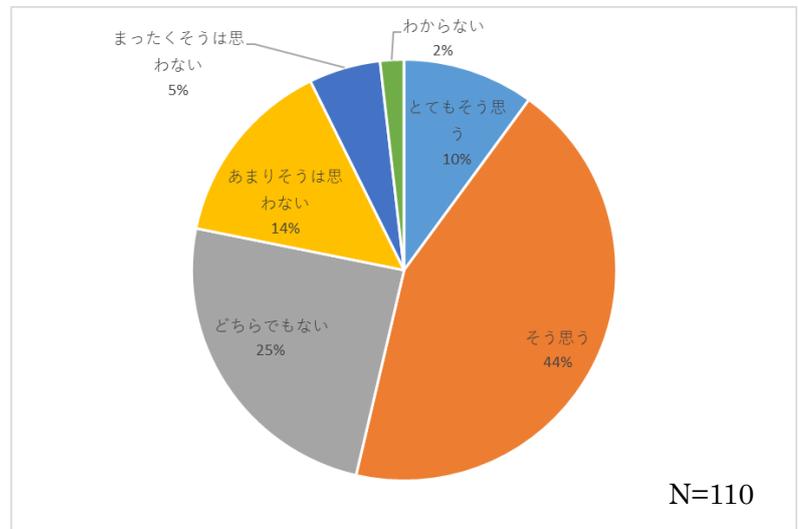
2-2 あなたが所属している地域 ESD 拠点の近隣地域では、ESD の認知度が高まり、理解が進んでいると思いますか？

ESD が近隣地域にも普及しつつあるという手ごたえを感じている拠点は、「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせて 46%と、半数に満たない。



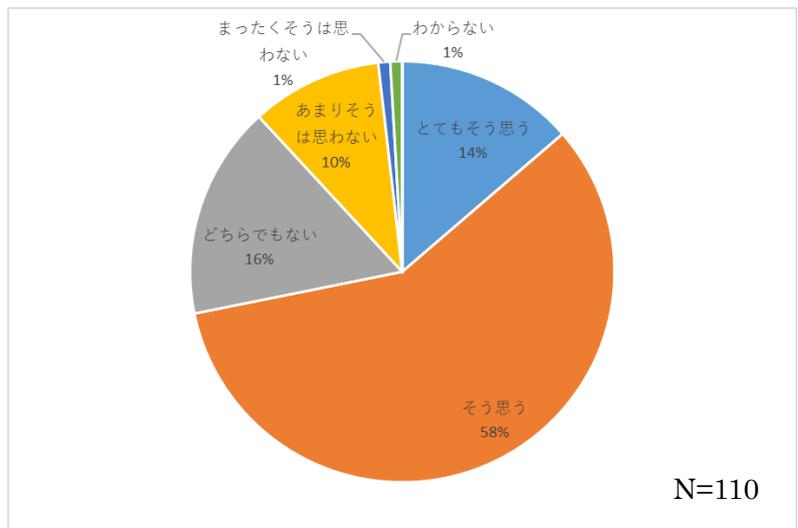
2-3 あなたが所属している地域 ESD 拠点の近隣にある学校や社会教育施設では ESD を SDGs 達成の担い手育成として位置づけた活動を実施していると思いますか？

「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせて 54%と、半数を超える拠点が肯定的な回答をする一方で、「あまりそう思わない」、「まったく思わない」をあわせて 19%が否定的な回答をしている。



2-4 あなたが所属している地域 ESD 拠点の近隣地域では地域課題への取組や、教育・学びに ESD (SDGs 達成の担い手育成) を取り入れる例が増えていると思いますか？

2-2 に比べると、「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせて 72%と、肯定的な回答が多い。地域課題解決の実践的な手法として ESD が活用されていると考えられる。



2-5 特記事項

<p>高等学校での ESD の取組が少しずつ活発になっているように思う（特に普通科）</p>
<p>SDGs の取り組みをしている団体・個人は増えたと思いますが、ESD の視点を取り入れて取り組んでいるか？と言われると、まだまだそのような団体・個人は皆無と感じます。</p>
<p>地元のコミュニティスクール委員ですが、地域というより小学校などが ESD 的な発想に至っていないと思います。教育機関が率先して ESD 的な動きをしないといけないと思います。</p>
<p>高校によってはエコキャップを集める事業を中止した所も出てきている、子ども達が自分たちで考えた結果だとの事</p>
<p>コロナ禍で中止やキャンセル等が多いですが、コラボの依頼が年々増えているように感じます。バッジをつけている方や名刺にイラストされている方もよく見かけるようになりました。</p>
<p>学校や教員の格差が広がっているように感じる。 結果的に教育を受ける子どもへの影響を感じる。</p>
<p>地域として考えると、県や社会教育施設などにおいて ESD の視点を取り入れた事業が増えているが、学校等の教育施設において考えると教員の質によるところが多い。意識の高い管理職が赴任すると一気にすすむが、異動があるとまったく行われなくなる。校長、教頭、教育委員会への研修などを行い、全体の意識の向上が必要だと考える。</p>
<p>SDGs という言葉はかなり広く認識され、活動に位置付けられている例が増えてきているが、ESD という言葉とは結び付けられていない気がする。 また、それぞれのターゲットを結び付け多面的・総合的に取り組むというより、1つのターゲットに対してピンポイントで取り組む例が多いと感じる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの SDGs セミナー講師依頼が増えた。小学校での SDGs への関心が高まっていると感じる。 ・地元新聞にも、地元企業や学校の、SDGs への取り組み関連の記事が増えたので、切り抜きし、自団体のブログにて紹介している。

3 行事・プログラムの実績についての設問

3-1 当該期間における ESD 実践者養成を目的とした研修・交流の開催実績

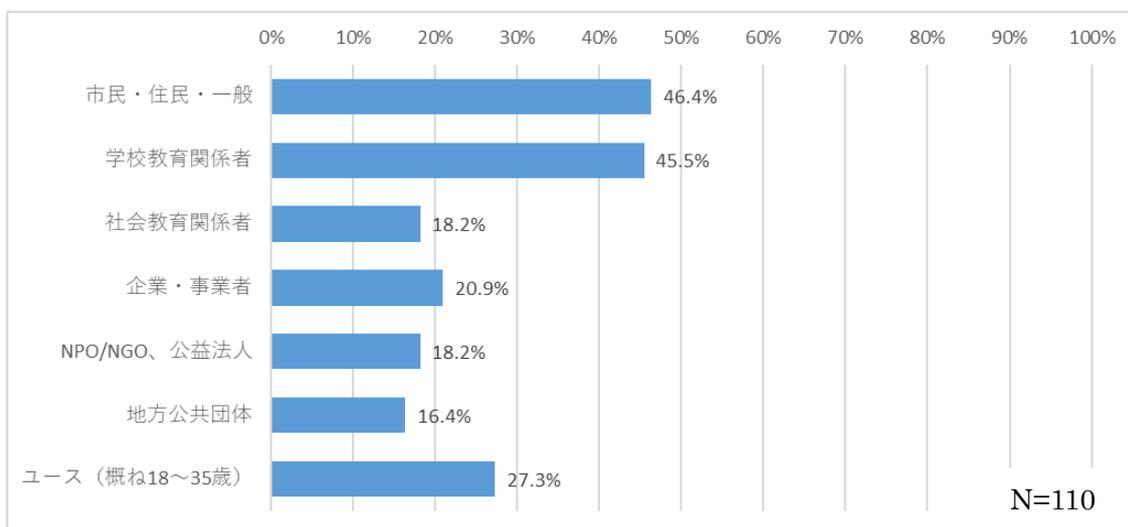
(1) 実績値

	合計	1ヶ所平均
実施回数（延数）	477	4.3
上のうち一部または全部をオンラインで実施した回数（延数）	163	1.5
参加者総数（延人数）	14,059	127.8

コロナ禍にもかかわらず、一つの拠点が四半期に一度は30人程度が参加する研修・交流イベントを実施しており、積極的に活動しているといえる。

全体の3割強がオンラインでのイベント。主催者・参加者ともこのスタイルに慣れつつあり、選択肢の一つとして定着してきた。

(2) 各属性の参加者があった拠点の割合



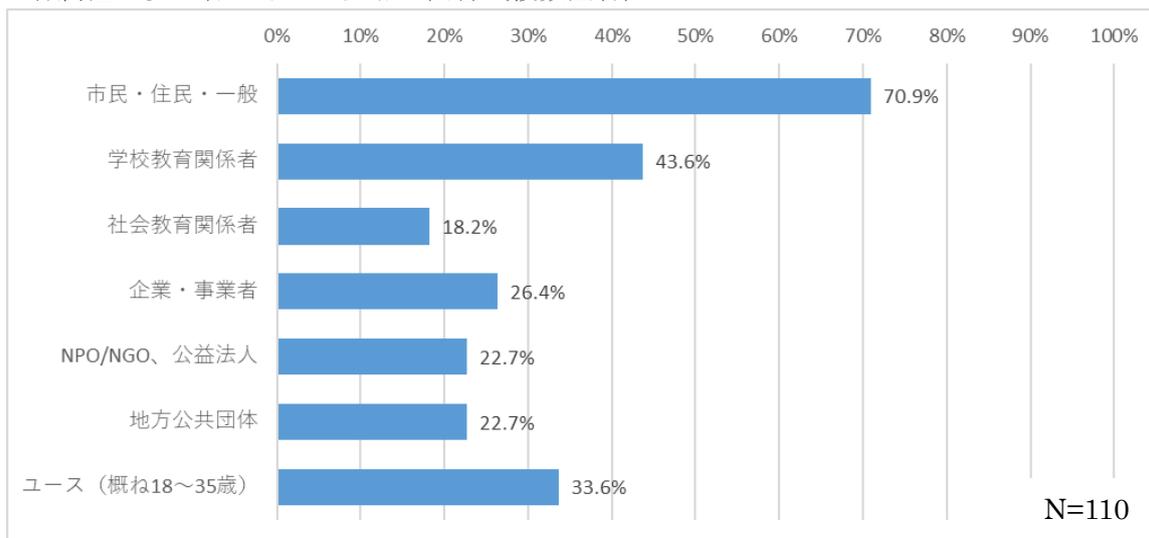
半数近くの拠点が、一般市民・学校教育関係者を対象とした研修会・交流会を実施している。

3-2 ESD/SDGs の普及を主な目的とした催し・プログラムの実績

(1) 実績値

	合計	1ヶ所平均
実施回数（延数）	1,241	11.3
一部または全部をオンラインで実施した回数（延数）	201	1.8
参加者総数（延人数）	64,528	586.6

(2) 各属性の参加者があった拠点の割合（複数回答）

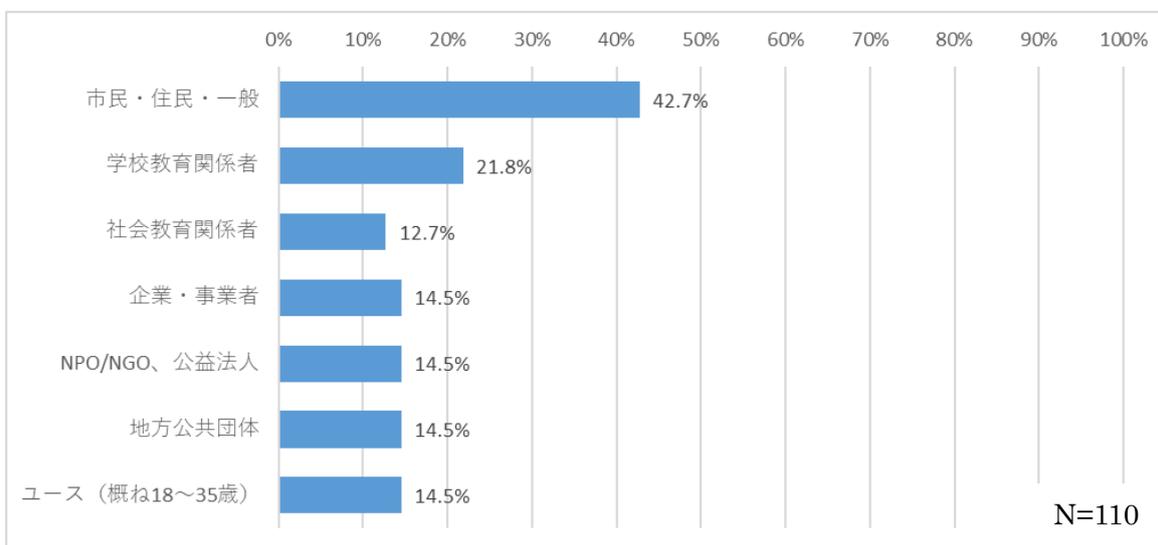


3-3 展示等の実績

(1) 実績値

	合計	1ヶ所平均
実施回数（延数）	263	2.4
一部または全部をオンラインで実施した回数（延数）	11	0.1
閲覧者総数（延人数）	19,283	175.3

(2) 各属性の閲覧者があった拠点の割合



4. 他団体(属性別)に対して支援を行っている拠点の割合

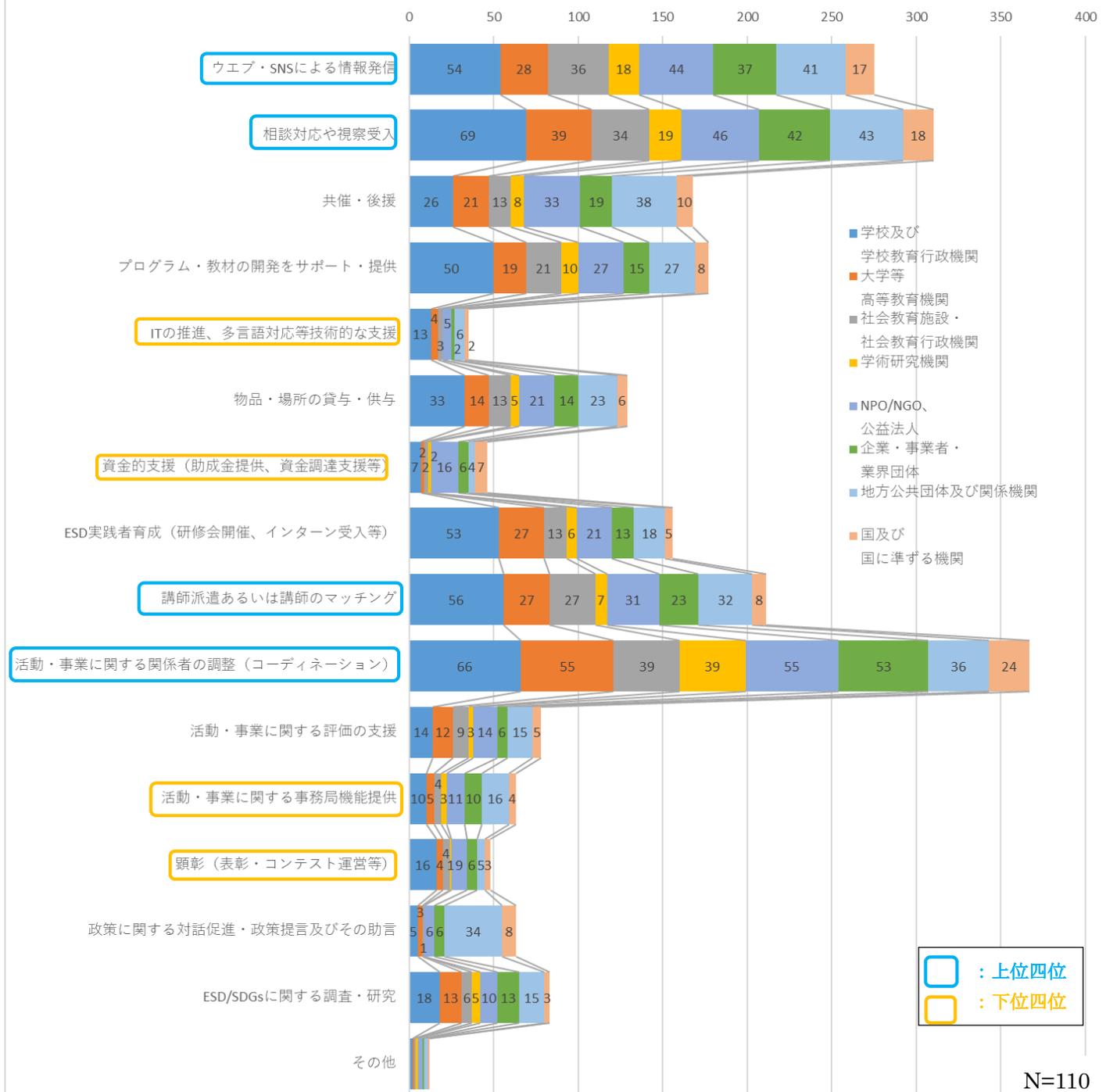
	学校及び 学校教育行政 機関		大学等 高等教育機関		社会教育施 設・社会教育 行政機関		学術研究機関		NPO/NGO、 公益法人		企業・事業 者・業界団体		地方公共団体 及び関係機関		国及び国に準 ずる機関	
	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%	回答 数	%
4-1 ウェブ・SNS による情報発信	54	49.1%	28	25.5%	36	32.7%	18	16.4%	44	40.0%	37	33.6%	41	37.3%	17	15.5%
4-2 相談対応や視察受入	69	62.7%	39	35.5%	34	30.9%	19	17.3%	46	41.8%	42	38.2%	43	39.1%	18	16.4%
4-3 共催・後援	26	23.6%	21	19.1%	13	11.8%	8	7.3%	33	30.0%	19	17.3%	38	34.5%	10	9.1%
4-4 プログラム・教材の開発をサポート・提供	50	45.5%	19	17.3%	21	19.1%	10	9.1%	27	24.5%	15	13.6%	27	24.5%	8	7.3%
4-5 IT の推進、多言語対応等技術的な支援	13	11.8%	4	3.6%	3	2.7%	0	0.0%	5	4.5%	2	1.8%	6	5.5%	2	1.8%
4-6 物品・場所の貸与・供与	33	30.0%	14	12.7%	13	11.8%	5	4.5%	21	19.1%	14	12.7%	23	20.9%	6	5.5%
4-7 資金的支援（助成金提供、資金調達支援等）	7	6.4%	2	1.8%	2	1.8%	2	1.8%	16	14.5%	6	5.5%	4	3.6%	7	6.4%
4-8 ESD 実践者育成（研修会開催、インターン受入等）	53	48.2%	27	24.5%	13	11.8%	6	5.5%	21	19.1%	13	11.8%	18	16.4%	5	4.5%
4-9 講師派遣あるいは講師のマッチング	56	50.9%	27	24.5%	27	24.5%	7	6.4%	31	28.2%	23	20.9%	32	29.1%	8	7.3%
4-10 活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）	66	60.0%	55	50.0%	39	35.5%	39	35.5%	55	50.0%	53	48.2%	36	32.7%	24	21.8%
4-11 活動・事業に関する評価の支援	14	12.7%	12	10.9%	9	8.2%	3	2.7%	14	12.7%	6	5.5%	15	13.6%	5	4.5%
4-12 活動・事業に関する事務局機能提供	10	9.1%	5	4.5%	4	3.6%	3	2.7%	11	10.0%	10	9.1%	16	14.5%	4	3.6%
4-13 顕彰（表彰・コンテスト運営等）	16	14.5%	4	3.6%	4	3.6%	1	0.9%	9	8.2%	6	5.5%	5	4.5%	3	2.7%
4-14 政策に関する対話促進・政策提言及びその助言	5	4.5%	3	2.7%	1	0.9%	0	0.0%	6	5.5%	6	5.5%	34	30.9%	8	7.3%
4-15 ESD/SDGs に関する調査・研究	18	16.4%	13	11.8%	6	5.5%	5	4.5%	10	9.1%	13	11.8%	15	13.6%	3	2.7%
4-16 その他	2	1.8%	1	0.9%	1	0.9%	1	0.9%	3	2.7%	1	0.9%	2	1.8%	1	0.9%

「4-16 その他と回答した内容」

- ・エコふぁみアプリインストールの普及 キャンペーンを行い、インストール者にプレゼント（エコ風呂敷）
- ・世論調査
- ・ホームページやメーリングリストによる、ESD/SDGs に関する各ステークホルダーの取組発信

注回答数：頻度 1-9：□ / 頻度 10-19：□ / 頻度 20-29：□ / 頻度 30-39：□ / 頻度 40-49：□ / 頻度 50-59：□ / 頻度 60-69：□

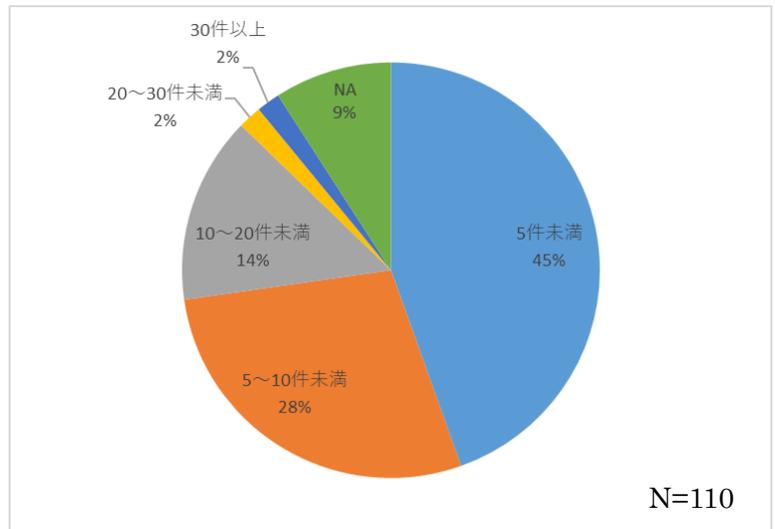
4メニュー別他団体への支援件数（延べ）



多くの拠点が、多様な属性の組織・団体を対象に「活動・事業に関する関係者の調整（コーディネーション）」を行っている。他には、「相談対応や視察受け入れ」「ウェブ・SNSによる情報発信」「講師派遣あるいは講師のマッチング」が高い。対象別では、「学校及び学校教育行政機関」への支援がいずれの項目でも比較的多い。

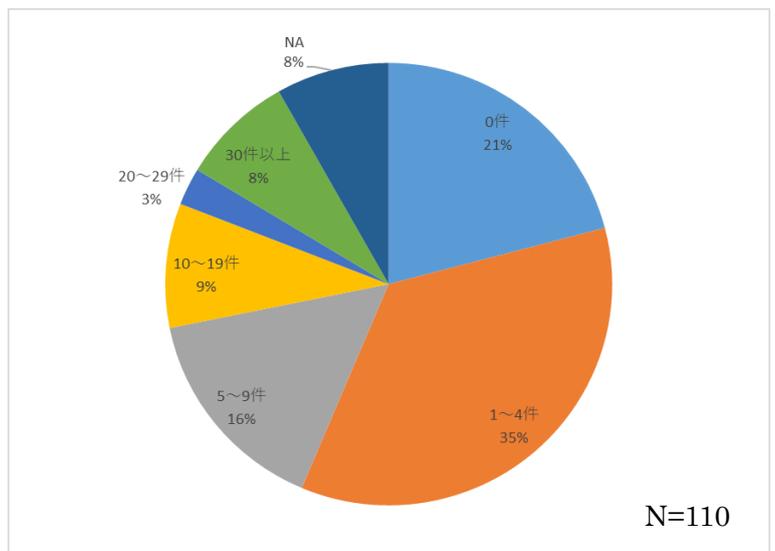
5 ESD 活動支援センター（全国・地方）が提供した情報のうち参考になった件数

「5 件未満」が 45%と、情報提供に関しては ESD センターが拠点のサポート機能を十分に発揮しているとは言い難い。ウェブサイトへの掲載に留まるのではなく、SNS やメール配信を活用し有用な情報を拠点に届けていく必要がある。



6 地域 ESD 拠点が複数のステークホルダーと連携または協働して実施・支援した ESD 活動の件数

「0 件」の拠点が 21%である一方、「5～9 件」「10 件～19 件」「20～29 件」「30 件以上」とあわせて 36%の拠点が 5 件以上の ESD 活動を実施している。



7 ESD 推進のため ESD 活動支援センターに望むこと、意見・提案

<p>地方の ESD 企画委員として会議に出席するだけでも勉強になっていコロナ禍であったので、研修会には参加できませんでしたが、参加したいと思います。情報の発信を期待しています。また、県内ではあまり進んでいないのかもしれないのですが、ESD に取り組む学校や教師の方とコラボしたいと思っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域 ESD 拠点同士の交流会を増やしてほしい ・一般市民向けに ESD に関する普及イベントをまちなかで開催してほしい
<p>より多くの行政機関に、ESD 活動支援センターの役割などについての周知を、進めてほしい。ESD に関する理解が、進んでいない地域がまだまだ多いように思う。そのため、連携・協力関係が構築しにくいということがある。</p>
<p>活動したいと思う人と活動してもらいたいと希望する人とのマッチングがうまくいかない。コミュニケーションがメールに偏ってきているので。文章力がない私には、難しい問題が山積されるとともにいつまでも、付き合ってはくれないから、進歩が見られない</p>
<p>ESD 拠点を回る修学旅行プランなどの企画を ESD 活動支援センター主導で進めていただき、ESD を推進するメリット（経済的・社会的）を創っていただきたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・対面形式の催し：オンラインで便利にはなりましたが、雰囲気だったり、細かいニュアンスが伝わりにくいなどあるから ・横のつながりがもっと強くなると課題解決によりつながると感じました
<p>地域にいと、全国 ESD 活動支援センターが何をめざして何をしようとしているのか、地域 ESD 拠点に何を期待しているのか、がいまだによくわからないです。 「地域を含めてみんなで考えていきましょう」ならそれはそれで一つの方向性なのですが、そうしたメッセージも聞こえてこないの、わかりやすい形で何らかの方向性を発信していただけると助かります。</p>
<p>各地域 ESD 拠点の特性を活かした活動に関する提案などもフランクにいただけると助かります。</p>
<p>市や県などの枠を越えた事業のマッチングができればよいと思います。</p>
<p>リモートで参加できる勉強会の案内を、引き続きお送りいただきたい。</p>
<p>社会教育や企業等における ESD 推進を進めていきたいと考えており、そういった団体に対する推進の情報、コーディネート、発信の機会などをいただけるとうれしい。</p>
<p>コロナで難しかったです、今後は他地域のセンターの活動事例やその現場を見学させてもらうなどの、対面による情報共有の機会が欲しいと感じている。刺激はやる気を起こさせます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「はい・いいえ」や項目を選択して回答する箇所を増やすなど、回答しやすい様式を検討してほしい。 ・回答することでこちらにもメリット（全国の拠点の中での位置付けが把握できるとか）がある形にすることで回答率をあげられるのではないか。 ・アンケートの回答は点の把握となってしまっている。面的展開へつながった取り組みなど広がりを持つ項目についても検討してみてもどうか。
<p>いつもメルマガでの情報発信を楽しく拝読させて頂いています。ありがとうございます。 地域と世界環境を結ぶ SDGs・ESD 学校プログラムの事例や、日本国内をとわず世界的に実施されているプログラム等を紹介して頂ければ幸いです。是非、ご検討の程よろしくお願いたします。</p>

以上